

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年7月

◆第98回活動:2017年7月10日(月) 午後1時から ヌエック207室

前回、皆と相談して研修棟の駐車場を、タッグを組み1台が後部柵をズラして停め、もう1台が前に停める。12時15分前後に待ち合わせて駐車場で待機した。

しかし、今日の駐車場は12時回っても誰も来ない。仕方なく職員の許可を得て、正面通りの街路樹下に許可を受けて停めた。

前回途中で終わった『浅間山を臨む春の林』、自宅で仕上げてきた自作品を、黒板上に並べて内ちゃん先生の画評を受けた。

今日から課題写真『星の砂浜』を描いていきます。

1. 砂岩の色を何色もつuckingしておく

◇ブラウン系

オレンジ色に混色する

- ① + 暗青色
- ② + 紫色 → 紫色を多目に混色してから、暗緑色を混ぜる
- ③ + 暗緑色
- ④ + 鮮緑色
- ⑤ + 鮮青色
- ⑥ + 深青色

◇ブルー系(中央手前にある青っぽい砂岩を描く)

オレンジ色に混色する

- ⑦ + 濃紺色 → 濃紺色を多目に混色してから、紫色を混ぜる
- ⑧ + 濃紺色 + 紫色の混色に、もう少し濃紺色を混ぜる

2. 砂岩のゴツゴツした影、岩と岩の間などに、焦げ茶色の水彩色鉛筆でコチョコチョと描くように色を付けていく。

中央部の手前にある青っぽい砂岩の岩影にも、濃い目の暗青色の水彩色鉛筆でコチョコチョと描くように色を付けていく。

3. 海水が入り込んでいる水溜り箇所に、マスキングを施す。

マスキングインクを乾かしてから、その水溜り周囲にオレンジ色+濃紺色+紫色の混色でサッサッと色をおいていく。

4. 水彩色鉛筆で付けた影のところに、オレンジ色+暗青色+焦げ茶色の混色を、細かい小筆に取ってドライブラシ技法で課題写真を見ながら、砂岩の流れに沿って色をこすりながらおいていく。

青っぽい砂岩にも、同じ色に濃紺色を多目に溶いた青っぽい影色を細かい小筆にとり、ドライブラシ技法で砂岩の流れに沿うようにこすりながら色を付けていく。

5. 予め混色でつくっておいた砂岩の色を付けていく。

- ① 明るめの岩色1項②や③、そして④の色を小筆にとり、ドライブラシ技法で岩の流れを表現するように筆を動かしながら色をおいていく。
- ② 中央部手前の青っぽい砂岩にも、1項⑦と⑧の色を小筆に取り、ドライブラシ技法で砂岩の流れを表現するように筆を動かしながら色をおいていく。

6. 明るい部分の砂岩に、筆先を3~4本に小分けたマスキング用筆で、チョンチョンとダブルマスキングしていく。

7. 濃い影色(暗青色+焦げ茶色)を小筆に取り、岩と岩の影をチョンチョンと描いていく。

中央部手前の青っぽい砂岩にも、青っぽい影色(暗青色2+焦げ茶色)を小筆に取り、岩と岩の影をチョンチョンと描いていく。

8. 1項でつくった①(オレンジ色+暗青色)、②(オレンジ色+紫色2)と、そこに紫を混色)、そして③(オレンジ色+暗緑色)を小筆に取り、色を箇所によって替えながら砂岩群にサーッと塗り、影や海側の岩の形を描いていく。

※今日の習作活動はこのあたりで時間となり、終了した。

9. 次回(7月24日(月))の活動予定

① 次回までに各自自宅でやってくる内容

- (1) 今日習作した手前の焦げ茶系砂岩、手前の青っぽい砂岩を仕上げる。

水溜りに施したマスキングインクとダブルマスキングしたインクをきれいに剥がし取る。剥がし取った水溜り周囲を竹串などの先端に巻いたスポンジで擦りながらボカしていく。

左端にある短い砂岩、その上部にある水溜りには予めマスキングしてから、描いていく。

(2) 今日描けなかった右側砂浜にある砂岩、海中にある砂岩などを描いてくる。

手前の打ち上げる白い波、海に張り出す林群水際の白い線状の波にマスキングを施してくる。

◆第99回活動:2017年7月24日(月) 午後1時から スエック実技研修棟試食室

前回活動の終了時に出された、①手前の砂岩を仕上げる、②海中に見える岩礁を描く、③海に張り出す岬の水際にマスキングを施す。3点を仕上げてきた。

今日の活動場所:試食室は2回目(前回は3月27日で、自分は欠席)で、内ちゃん先生を入れて11名で授業が始まった。冒頭、次回(8月14日)の活動内容が話された。

① 課題写真『塩沢湖畔の洋館』の写真をA3判2枚配布された。

② 水張りしたF8サイズ(orF10)のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

③ 課題写真左側に見える洋館を自宅で彩色してくる。

a) 洋館をデッサンする

b) 洋館を彩色する

(1) 洋館手前の木々に色をおいてから、木々をマスキングする。

(2) 1階と2階の手すり、2階ひさし下の窓枠、白い柱、煙突左右に見える窓枠にマスキングをする。

c) 周囲の林の光って白く見えるところ、林群の境い目、木々のすき間などにマスキングする。

1. 海に張り出している林にマスキングを施す。

① グリーンの影色をつくる

a. グリーン系 黄色+暗青色

b. ブルー系 黄色+暗青色多目に

c. ブラウン系 黄色+暗青色の混色に紫色を混ぜる

② 手前に見える明るい林群の先端部(奥との境い目)にチョンチョンとマスキングしていく。

③ 奥の林群と右側の黒っぽい林群の先端部にマスキングする。

2. マスキングインクを乾かしてから、

① 手前に見える明るい林群に、淡目のa色を小筆に取り、ドライブラシ技法で先端部へ擦るように木々の形に塗り、直ぐに水筆で直ぐぼかしていく。

② 置く目の林群にはb色を小筆に取り、先端部へ擦りながらドライブラシ技法でおいていき、水筆で直ぐにぼかしていく。

③ 右側の黒っぽい林群にも、b色やc色を小筆に取り、ドライブラシ技法で木々の形に上部に擦りながら色をおいていく。

④ ドライヤーで乾かしてから、明るい手前の林群の先端部分にダブルマスキングをチョンチョンと施していく。

⑤ 右端の暗い林群、白く見えている木々のすき間にダブルマスキングを施す。

3. 空を彩色する

① 空の色をつくる

鮮青色+黄色+淡青色

② ハケに水を多目に含ませ、左から右へサーッとハケを走らせて塗っていく。

海に張り出している林群と、左側の海面まで水を塗っていく。

③ つくった空の色を同じハケに含ませ、上部からハケを走らせて下部へと色が薄めになるように塗っていく。

ムラにならないように気をつける。

④ 塗り終わったら画板を逆さに立てて、空上部に向けて空色が濃くなるように、余分な絵の具と水分を流していく。

4. 海面を描いていく

① 海の色をつくる

a. グリーン系 鮮青色+黄色+暗青色

b. ブルー系 鮮青色+濃紺色+暗青色

c. ブラウン系 黄褐色+紫色

② 薄く水溶きしたc色を、右橋の砂地に淡く色をおいていく。

③ 手前の砂岩上部と海の境い目に、ブルー系やブラウン系影色を小筆に取り、ドライブラシ技法で擦りながら色をおき、水筆でぼかしていく。

- ④ 海中の岩礁周囲にも、ドライブラシ技法でブルー系やブラウン系を擦りながらおいていき、水筆でぼかしていく。
- ⑤ ドライヤーで乾かしてから水平線に紙テープを張り付け、海面上の方は海のb色をサーッと平筆で塗っていく
- ⑥ 同じ海のa色を、手前の砂岩際まで課題写真を見ながら、薄めのc色も使いながら薄めに塗っていく。

5. 海に張り出した林群を描いていく

- ① 1項の①でつくったグリーン系a色で、手前側の明るい林群を、ドライブラシ技法で擦りながら描いていき、水筆でぼかしていく。
- ② 手前に見える濃い影部分に、①項のb色彩色で課題写真を見ながら整えるように、ドライブラシ技法で描いていき、直ぐに水筆でぼかしていく。
- ③ 手前明るい林群の後ろにある濃い林群にも、1項のb色を濃い目にして小筆に取り、ドライブラシ技法で描いていき、水筆でぼかしていく。
- ④ 右端の暗い林群は、1項のb色とc色を使い、ドライブラシ技法で課題写真を見ながら描いていき、水筆でぼかしていく。
- ⑤ 海面際を同じb色やc色を小筆に取り、課題写真を見ながら水際を整えるように描いていく。

6. 次回(8月14日(月))の活動予定

次会の活動は、課題写真『塩沢湖畔の洋館』を午前・午後の1日活動で描いていきます。

時間的な割り振りも念頭に、冒頭に内ちゃん先生から宿題が出された。

描き方は冒頭に要点を書いた。